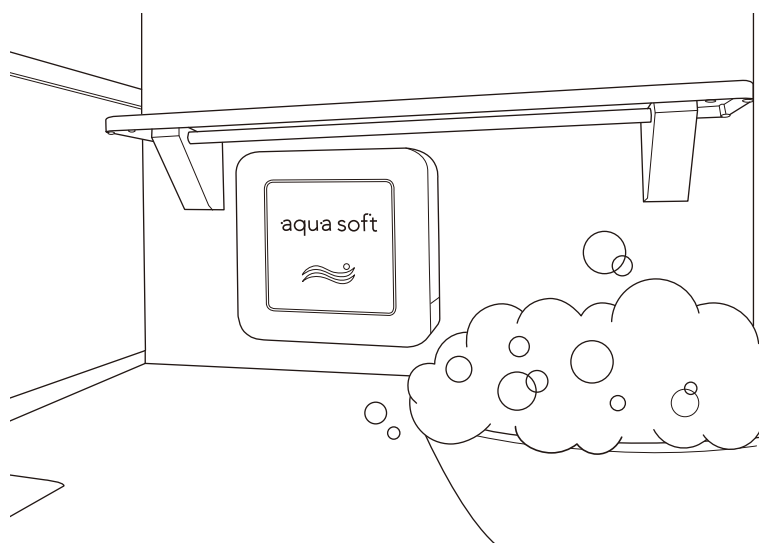


クリン軟水

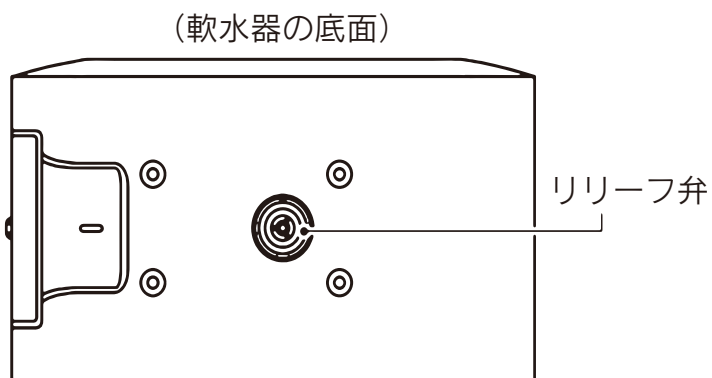
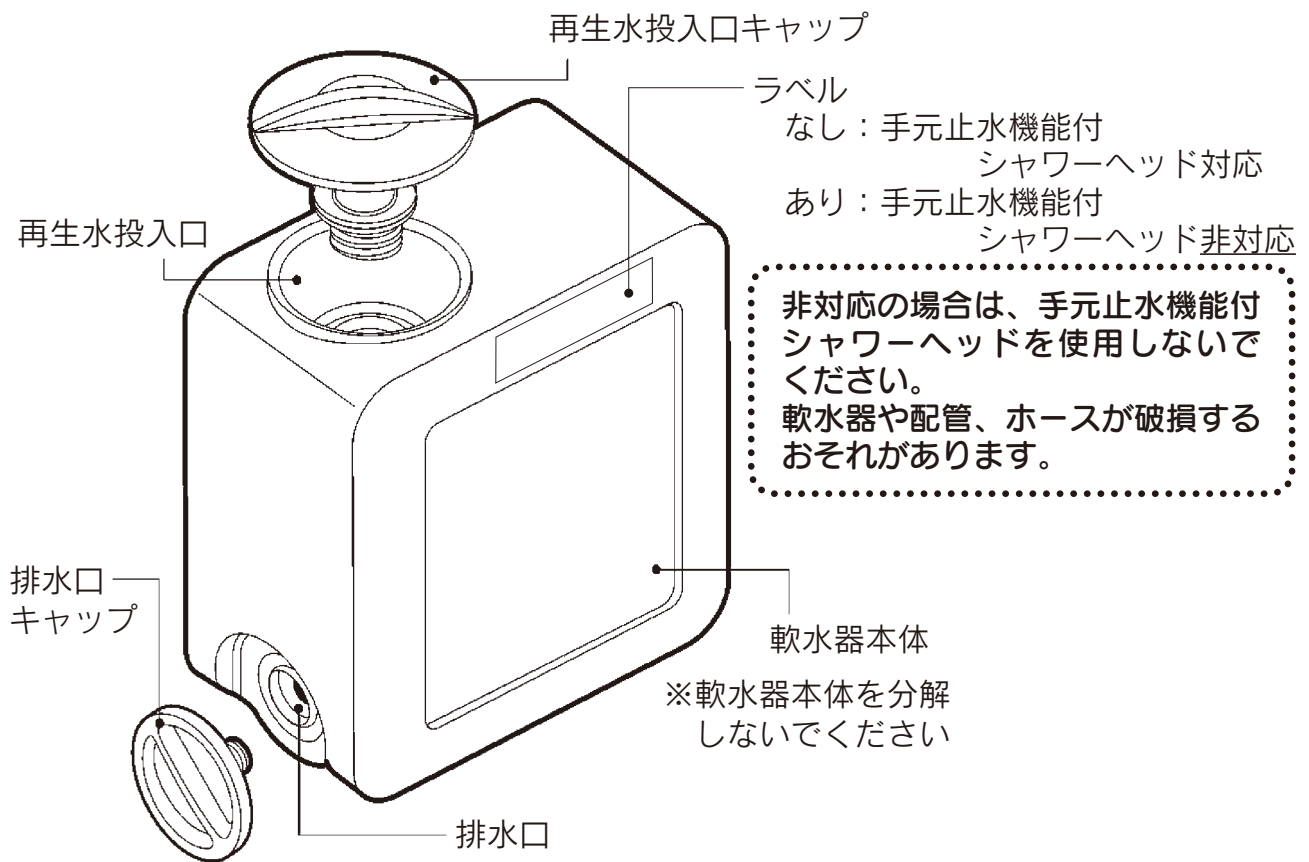
もくじ

各部のなまえと付属品	2
安全上のご注意	3
クリン軟水とは	6
軟水器のしくみ	7
ご使用方法	
はじめてのご使用	8
ご使用方法	10
軟水効果を持続させるために	12
再生方法	13
イオン交換樹脂の取り換え時期	16
お手入れのしかた	16
故障かなと思ったとき	17
仕様	19
アフターサービスについて	20



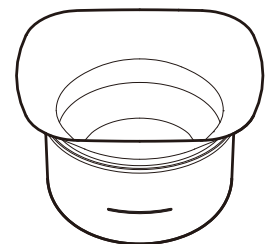
- このたびは、ハウステック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、大切に保管してください。

各部のなまえと付属品



機器を保護するため、内圧が高くなるとリリーフ弁が作動し、水(湯)が吹き出る場合があります。

付属品



計量カップ(ろうと付)

※再生水を作製するときに使います。

安全上のご注意

- 安全に使用していただくための重要な項目ですので、必ずお読みください。
- ここに示した事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

この取扱説明書では、お客様や近隣の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために説明文及び製品の表示では、いろいろな絵表示をしています。表示と意味は次のようになっています。内容をよくご確認ください。

注意表示	意 味
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重症を負うことが想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

絵表示には次のような意味があります。

絵表示	意 味	絵表示	意 味	絵表示	意 味
	一般的な注意事項		一般的な禁止事項		必ず行う事項

安全上のご注意



警告



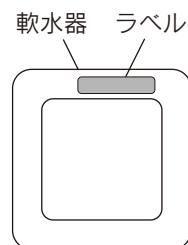
故障、破損したら使用しないでください。
事故の原因になることがあります。



本製品に乗ったり、物を載せたり、力を加えたりしないでください。
落下、転倒などにより、けがの原因になることがあります。



手元止水機能付シャワーヘッドが非対応の場合は、手元止水機能付シャワーヘッドを使用しないでください。
軟水器や配管、ホースが破損するおそれがあります。
※手元止水機能付シャワーヘッドが非対応の場合は、軟水器正面にラベルが貼付してあります。



シャワーを使用するときは、手で湯温を確認してから使用してください。
熱いお湯が出てきてやけどをしたり、冷たい水が出てくるおそれがあります。



注意



飲料用として使用しないでください。
本製品は、浴室シャワー用に設計されています。人体に影響はありませんが、飲料用として使用しないでください。
特に使い始めの水(湯)は、滞留水のため、しばらく流してから使用してください。



本製品は、水道法に定められた水質基準に適合した水を使用してください。
井戸水などの場合、水質によっては、詰りやイオン交換樹脂の寿命が著しく短くなることがあります。



水栓のシャワー吐水温度は、50℃以下にして使用してください。
50℃を超えるお湯を使用すると、破損したりイオン交換樹脂の寿命が著しく短くなることがあります。



再生水投入口には、ごみや洗剤など、再生水以外の物を絶対に入れないでください。
故障の原因になるおそれがあります。

安全上のご注意



注意



分解・修理・改造はしないでください。
故障の原因になるおそれがあります。



シャワーヘッドの詰り、シャワーホースの折れ曲がりご注意ください。
軟水器に異常な水圧がかかり、破損・破裂するおそれがあります。



再生水をこぼしたときは、よく拭き取るか、水で洗い流してください。
また、再生時の排水も水で洗い流してください。
サビや故障の原因となります。



1日以上本製品を使用しなかった場合は、使い始めの15秒間程度の
水（湯）は雑用水としてお使いください。

お願い



水栓・シャワーヘッドは弊社指定品をご使用ください。
指定品以外のご使用は使用感が悪くなるおそれがあります。また、故障の
原因になることがあります。



シャワーのお湯はこまめに止めてください。
流しっぱなしにすると、再生頻度が多くなり、イオン交換樹脂の寿命も
短くなるおそれがあります。



給水元圧は、0.15MPa以上0.5MPa以下で使用することをおすすめします。
水圧が低いと使用感が悪くなるおそれがあります。また水圧が高いと軟水器に
異常な水圧がかかり、破損・破裂のおそれがあります。



水圧が高い場合、水栓開閉時に軟水器底部のリリーフ弁が作動し、水（湯）が
噴き出る場合があります。これは、軟水器の保護装置であるリリーフ弁が正常
に作動しているためです。

リリーフ弁からの噴き出しが著しい場合は水栓の調整を行い、軟水器に過剰な
水圧がかからないようにしてください。

（水栓の調整は  8、 9 をご覧ください。）

クリン軟水とは

クリン軟水とは

- 水道水には、硬度成分であるマグネシウムやカルシウムが含まれています。硬度成分が多い水を硬水といい、少ない水を軟水といいます。WHO（世界保健機構）の基準では120mg/L以下を軟水といいますが、クリン軟水は硬度が20mg/L以下の“超軟水”です。クリン軟水は、主に下記のような特徴があります。
 - ・肌にやさしい
 - ・石けんカスがつきにくい
 - ・泡立ちが良い
- 石けんとクリン軟水で体を洗い流すと、肌あたりが柔らかく、トゥルツとした感触があります。これは石けんカスがつかずに石けんの脂肪分のみが残ることによるものです。脂肪分で肌をコーティングしますので、トゥルトゥル感が残ります。また、洗顔後のツッパリ感も和らぎます。

石けんカスとは

- 水道水中の硬度成分と、石けんの脂肪分が化合することにより発生するもので、水には溶けない汚れです。洗顔や洗髪のすすぎ水で洗面器の水面に浮いていたり、へりに付着している白いものが石けんカスです。

軟水器とは

- 本製品は、水道水中の硬度成分を低減させる機器です。軟水器に内蔵しているイオン交換樹脂が硬度成分とイオン交換することで硬度成分を低減させます。

お知らせ

- ・本製品はシャワー用です。吐水口からは出ません。
- ・本製品では、水道水中の塩素やゴミ、その他の成分を除去・低減させることはできません。
- ・はじめてご使用になるとき、通水前であるにもかかわらず排水口キャップを外すと水が出る場合があります。この水は、軟水器通水検査時の残水であり、異常ではありません。しばらく通水してからご使用ください。
（軟水効果を設置直後から体感いただくために、イオン交換樹脂は湿らせた状態で出荷しています。）

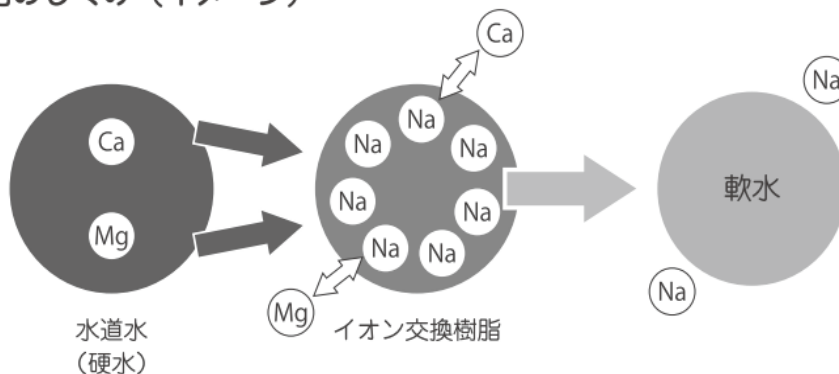
軟水器のしくみ

- 水道水がイオン交換樹脂を通過するとき、硬度成分（マグネシウム・カルシウム）とナトリウムの交換を行います。この交換によって硬度成分が低減され、軟水となります。下記の図は、軟水器のしくみについての説明です。
- ・ 使用前のイオン交換樹脂（購入時と再生後）は、ナトリウムが付着しています。
- ・ イオン交換樹脂内に移動水を通すと、イオン交換趣旨に硬度成分が付着し、軟水になります。
- ・ イオン交換樹脂に通した水の量が一定量を超えると、硬度成分が取れなくなり、軟水を作ることができなくなります。
- ・ 再度、硬度成分を吸着できるようにするためには、イオン交換樹脂に付着した硬度成分を再生水（塩水）で洗い流す必要があります。このことを再生といいます。

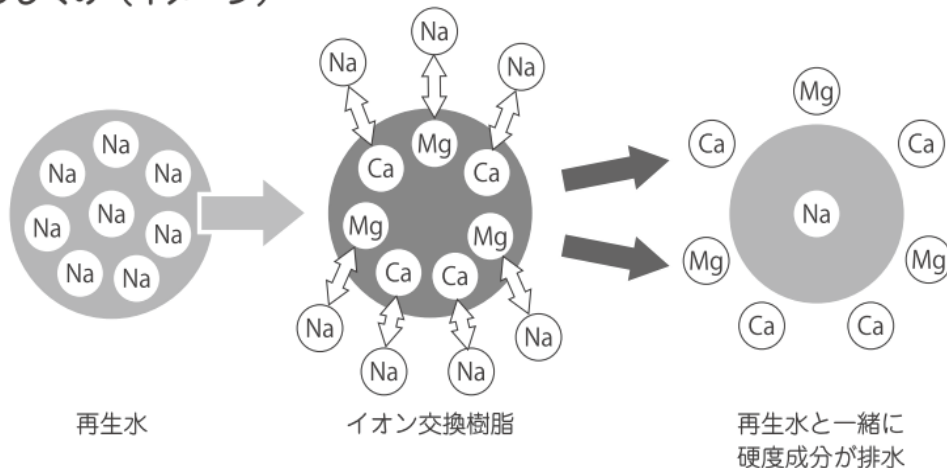
再生に食塩またはメンテナンス剤を使用するのはなぜ？

- 軟水を作るときは、イオン交換樹脂内のナトリウムと硬度成分（マグネシウム・カルシウム）がイオン交換し、イオン交換樹脂内に硬度成分がたくさん取り込まれます。硬度成分が多量に取り込まれたイオン交換樹脂に、主成分が塩化ナトリウムである食塩やメンテナンス剤が溶けた再生水を流し込むと、逆に硬度成分と再生水中のナトリウムがイオン交換して硬度成分を洗い流すことができ、また軟水が作れるようになります。

軟水化のしくみ（イメージ）



再生のしくみ（イメージ）



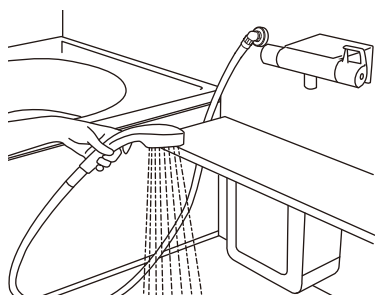
※記号の説明 Mg：マグネシウム, Ca：カルシウム, Na：ナトリウム

ご使用方法

はじめてのご使用（水栓の調整方法）

はじめてご使用になるときは、以下の要領でシャワーの流量・水圧を調整してください。
詳細はご使用の水栓の取扱説明書をご覧ください。

1 水栓を操作し、シャワーを出します

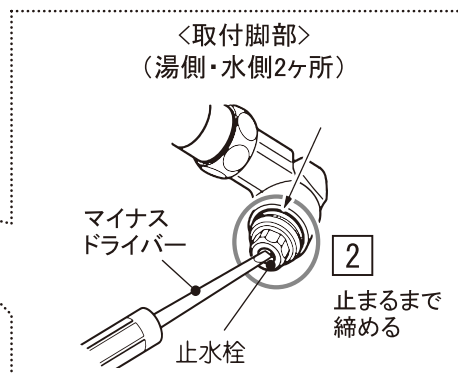
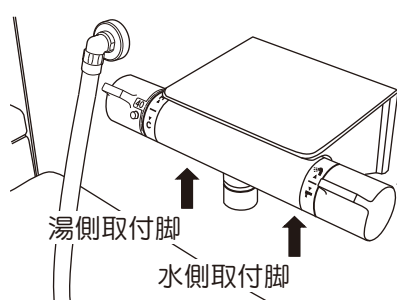


シャワーの流量、水圧を確認し、
強すぎる場合は以下を実施してください。

特に問題ない場合はこのままご使用ください。

2 水栓の湯側、水側止水栓を閉めます

水栓の取扱説明書をよく読み、湯側、水側両方の取付脚に付いている止水栓を止まるまで締め込みます。※マイナスドライバーまたは水栓に付属、指定された工具をご使用ください。



3 水栓をシャワー側全開にします

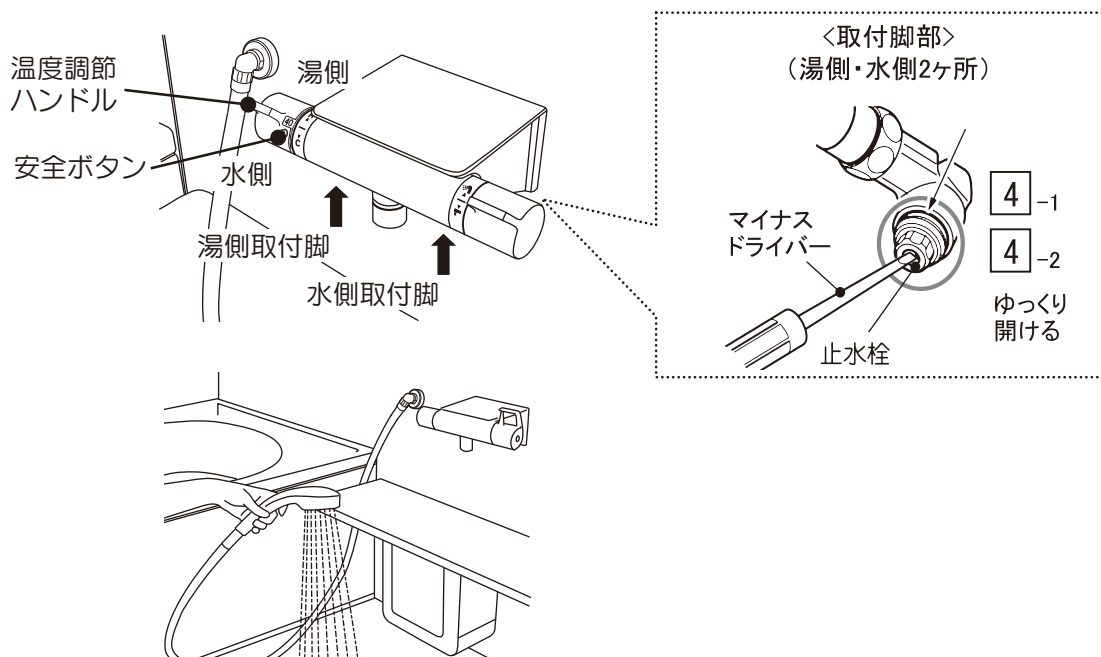
※この時、止水栓が閉まっているのでシャワーは出ません。

ご使用方法

4

-1 水側の調整

温度調節ハンドルを水側いっぱいに回します。**2**で締めた水側上水栓をゆっくり開けて、シャワーを徐々に出していき、ちょうど良い流量・水圧に調整します。



4

-2 湯側の調整

- ・ 温度調節ハンドルの安全ボタンを押しながら湯側いっぱいに回します。
※この時、湯側止水栓が閉まっているので、一旦シャワーは弱まります。



給湯器の運転スイッチを入れ、設定温度をできるだけ低温にしてください。
やけどのおそれがあります。

- ・ **4**-1と同様に**2**で閉めた湯側止水栓をゆっくり開けて、シャワーを徐々に出していき、ちょうど良い流量・水圧に調整します。
- ・ 水側、湯側の調整ができれば、一旦シャワーを止めます。

5

水栓の温度調節ハンドルを適温にして、シャワーの流量・水圧を確認します

- ・ 水栓をシャワー側全開までゆっくり開け、シャワーの流量・水圧を確認します。
ちょうど良い加減であることを確認できれば調整作業は終了です。

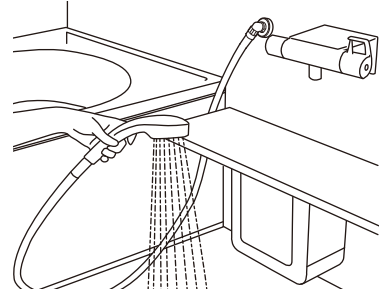
ご使用方法

クリン軟水を使用するとき

- 1 クリン軟水を使用するときは、水栓をシャワーに切替えてそのままご使用ください。

水栓をシャワーに切替えると、水道水はクリン軟水となってシャワーヘッドから吐出されます。

※はじめて使用するときや再生後は
軟水器本体内部を水道水が通過しますので
水栓をシャワーに切替えてから
水（湯）が出るまでに多少時間がかかります。



⚠ 注意

- ・シャワーホースの根元を一方向に複数回、回転させないでください。壁との固定ねじが外れてくるおそれがあります。
- ・軟水器本体のキャップを外した状態でシャワーに切替えしないでください。排水口から水（湯）が吹き出ます。



お願い

- ・水圧が高い場合、水栓開閉時に、軟水器底部から水（湯）が出る場合があります。これは、軟水器の保護装置であるリリーフ弁が正常に動作しているためです。水栓の開度を調整するなどして、軟水器に過度な水圧をかけないようにしてご使用ください。使用中や停止中に水（湯）が出続ける場合は、弊社お客様相談窓口までご連絡ください。
- ・シャワーのお湯はこまめに止めてください。流しっぱなしにすると、再生頻度が多くなり、イオン交換樹脂の寿命も短くなるおそれがあります。

お知らせ

- ・本製品はシャワー用です。吐水口からは出ません。
- ・はじめてご使用になるとき（工場出荷状態）は、イオン交換樹脂は再生済ですので、そのまま使用していただくことができます。
- ・最初に軟水器に水（湯）が通水されると茶色い水が数秒間流れ出る場合があります。これは、軟水器に充てんしているイオン交換樹脂の色素です。人体に影響はありませんが、しばらく水を流してからお使いください。長期間お使いにならなかった場合も、使い始めに茶色い水が出る場合があります。

ご使用方法

凍結の予防方法（凍結が予想される場所でご使用になる場合）

⚠ 注意

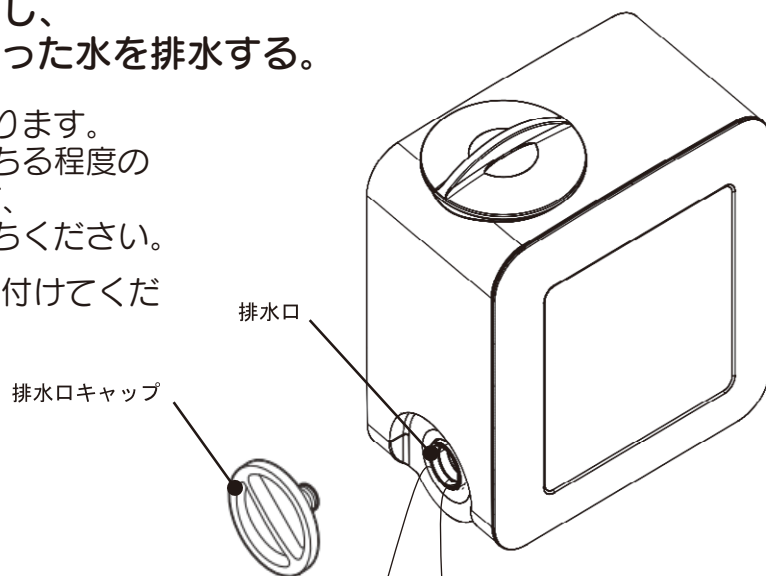
- ・ 軟水器・水栓が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となるおそれがあります。
- ・ 凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。
- ・ 長期間使用しない時の急な冷え込みにそなえて、凍結予防を行ってください。

＜凍結のおそれがある場合は、次の処置を実施してください。＞

- 排水口キャップを外し、
軟水器本体内にたまった水を排水する。

※排水には3分程度かかります。
1分経過後には滴り落ちる程度の
排水状態となりますが、
そのまま約2分間お待ちください。

※排水後はキャップを取付けてくだ
さい。



- 水栓・シャワーの水抜きを行う。
※水栓・シャワーの水抜き方法は
ご使用の水栓の取扱説明書をご覧ください。

軟水効果を持続させるために

メンテナンスの概要

- イオン交換樹脂が所定の硬度成分を取り込むと、以降は軟水化することができなくなります。そのため、イオン交換樹脂をリフレッシュさせる「再生」操作を定期的に行う必要があります。再生の方法は 13 ~ 15 再生方法を参照ください。

「再生」は食塩またはメンテナンス剤を水で溶かした再生水で、イオン交換樹脂に取り込んだ硬度成分を洗い流す作業です。

再生時期の目安

- 再生を行う時期は、ご使用中の水道水の硬度やご使用状況により異なりますが、下表を目安に行ってください。

使用人数	水量の目安	再生時期
1人	40L/日	約30日毎
2人	80L/日	約15日毎
3人	120L/日	約10日毎
4人	160L/日	約7日毎

※上記表は、原水（水道水）硬度が70mg/Lでの平均的な再生時期の目安を示すものです。再生時期は、ご使用の原水（水道水）硬度や使用頻度、使用量により異なります。トゥルトゥル感がなくなったり、洗顔後のつっぱり感がある等も再生時期の目安となります。

お知らせ

- ・再生時期は、ご使用の原水（水道水）硬度におおむね反比例します。原水（水道水）硬度が140mg/Lのときは、再生時期が上記表の約半分になります。別売の水硬度試薬で、ご自宅の原水（水道水）硬度を測定することで、およその再生時期の目安としてください。または、前回の再生からシャワーからの水（湯）の硬度が、20mg/Lを超えるまでの日数を目安とすることもできます。
- ・クリン軟水は硬度が20mg/L以下の「超軟水」ですが、硬度が30mg/L以下の地域では硬度差が小さいため、効果を感じにくいことがあります。

全国の硬度（ご参考）

硬度【mg/L】

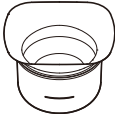
都道府県	平均硬度	都道府県	平均硬度	都道府県	平均硬度	都道府県	平均硬度
北海道	33	東京都	65	滋賀県	46	香川県	47
青森県	43	神奈川県	62	京都府	42	愛媛県	58
岩手県	41	静岡県	53	大阪府	44	高知県	44
宮城県	29	山梨県	54	兵庫県	48	福岡県	61
秋田県	30	長野県	48	奈良県	49	佐賀県	45
山形県	28	新潟県	32	和歌山県	54	長崎県	38
福島県	35	富山県	30	鳥取県	41	熊本県	70
茨城県	66	石川県	44	島根県	28	大分県	52
栃木県	51	福井県	38	岡山県	47	宮崎県	39
群馬県	57	岐阜県	38	広島県	29	鹿児島県	49
埼玉県	75	愛知県	26	山口県	40	沖縄県	84
千葉県	82	三重県	46	徳島県	48		

※ softwater.jp より抜粋（上記硬度は、浄水場毎の硬度、浄水量を加重平均して算出した値です。同一県内でも浄水場（地域）により硬度は異なります）

再生方法

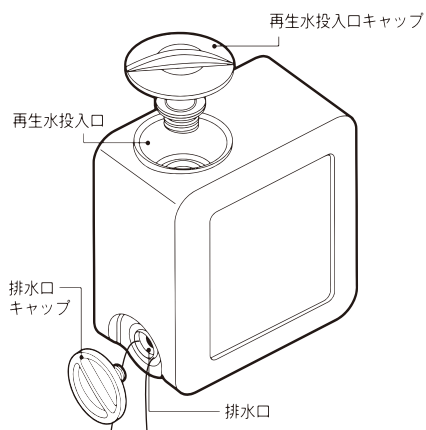
<再生前の準備>

再生に必要な部品等の準備

食塩(360g)<市販品>	
 【食塩】	■市販の食塩をご使用いただけます。 ■塩化ナトリウム99%以上でうまみ成分を含まないものをご準備ください。
ペットボトル(2L)<市販品>	
 【2L・透明】	■市販のペットボトル飲料用を流用いただけます。透明な空容器で、付属のろうとが取り付けられる形状のものをご準備ください。また、肩口が再生水投入口に合うものをご準備ください。使用の際はよく洗浄してください。
計量カップ（ろうと付）<付属品>	
	■市販の食塩を計量する際に計量カップを使用します。またペットボトルで再生水を作製する際にろうとを使用します。

<再生の方法>

- 1 水栓を閉止して、シャワーの使用を止めてください。
- 2 軟水器本体のキャップ（2個）を外し、排水してください。



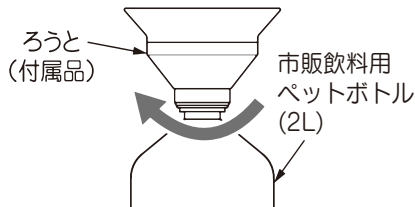
※軟水器内にたまっていた水（湯）が排水されます。
※排水には3分程度かかります。1分経過後には滴り落ちる程度の排水状態となりますが、そのまま約2分間お待ちください。

※待っている時間を利用して **3** ～ **7** の作業を行い再生水を作製してください。

再生方法

3

よく洗淨したペットボトル飲料の空容器（2L）を準備し、フタを外して付属のろうとを取り付けます。



お知らせ

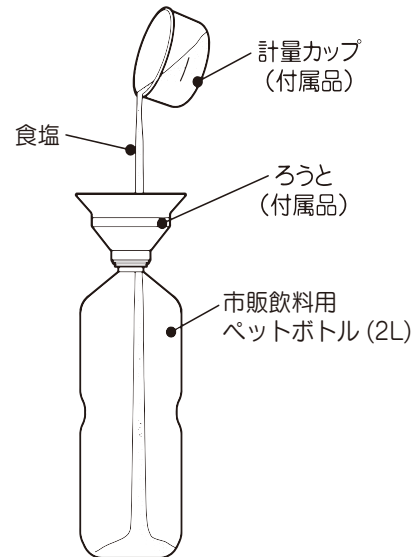
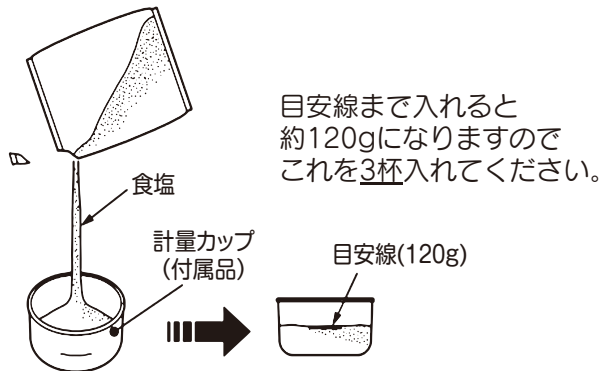
- ・ ペットボトルの種類により、ろうとが取り付けられない場合があります。ろうとの形状に合ったペットボトルをご使用ください。
- ・ ペットボトルは中が見える透明なものをご使用ください。
- ・ ペットボトルの肩口は再生水投入口に合う形状をご使用ください。

4

食塩（360g）をペットボトルに入れます。

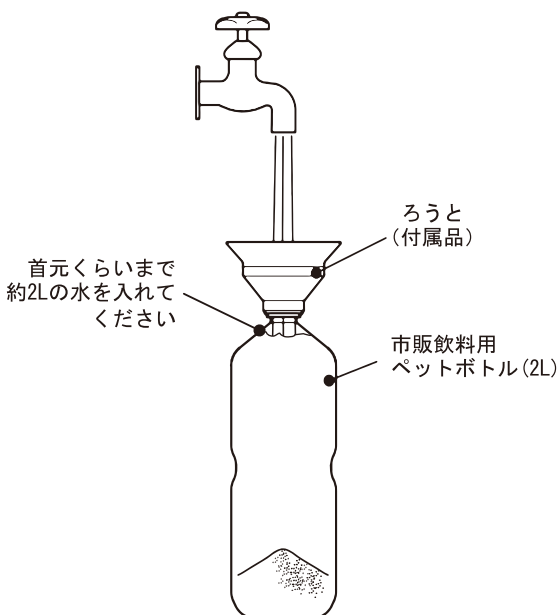
食塩を360g用意します。

付属の計量カップで計量してください。



5

食塩の入ったペットボトルに水を入れます。



※ペットボトルにろうとを付けたまま水を入れ、ろうとに付いた食塩もペットボトルに流し込みます。

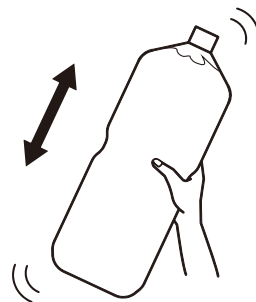
※水はペットボトルの首元くらいまで約2L入れます。（左図）

再生方法

6

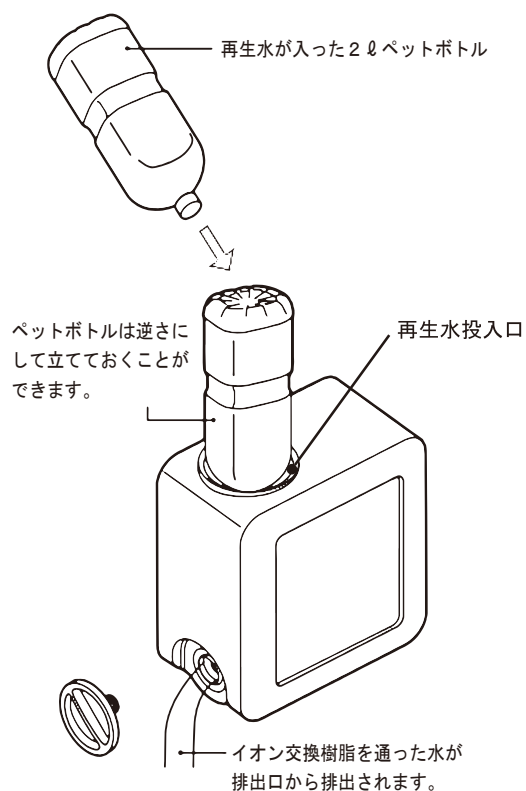
ペットボトルのろうとを外し、フタを閉めます。
食塩の結晶が見えなくなるまでよく振って溶かします。

以上で再生水の完成です。



7

軟水器の再生水投入口から再生水を流し込み、排水口から排水します。



※ペットボトルは再生水投入口に差し込んでください。

※立てておくことができます。
斜めに立てると再生水がこぼれますのでまっすぐに立ててください。

⚠ 注意

ペットボトルの肩口の形状が合わないと、倒れたり、再生水が投入口からあふれるおそれがあります。ペットボトルの肩口は再生水投入口に合う形状をご使用ください

⚠ 注意

- ・再生時の排水や再生後最初に軟水器を通った水（湯）には塩分が含まれています。周囲の金属など、さびやすいものにかかったまま放置するとサビが発生する場合がありますので、水（湯）で洗い流してください。
- ・再生時の排水や再生後最初に軟水器を通った水（湯）にはカルシウム・マグネシウムが多く含まれています。汚れの原因となりますので、軟水で洗い流してください。

8

再生水が排水されたら、**2**で外した軟水器のキャップ(2個)を閉めます。

⚠ 注意

- ・排水口キャップを外したまま再生水を再生水投入口から流し込んでください。排水口キャップを閉め、軟水器内に再生水をためるようにして再生しても再生効率は上がりません。
- ・再生後、最初に軟水器に水（湯）を通水すると、再生水の残水が数秒間流れます。塩分が含まれており、目にしみる場合がありますので、30秒程度流してからご使用ください。（このとき、キャップから水漏れのないことを確認してください）
- ・軟水器本体のキャップ（2個）の閉め忘れ及び締めすぎに注意してください。

イオン交換樹脂の取り換え時期

- イオン交換樹脂は消耗品です。使用状況で異なりますが5～7年が寿命となります。寿命となったイオン交換樹脂は、イオン交換が適正に行われなくなったり、シャワーの水勢が弱くなる場合がありますので、交換が必要です。性能を維持するため、イオン交換樹脂は5～7年毎に交換していただくことをお勧めします。イオン交換樹脂の交換につきましては、弊社お客様相談窓口までご連絡ください。

お手入れのしかた

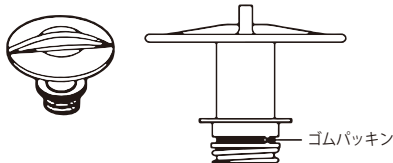
毎日

最後に入浴した人が飛び散ったシャンプーの泡などをシャワーで洗い流してください。水あか予防のため、硬く絞った布で、水気をふき取ってください。

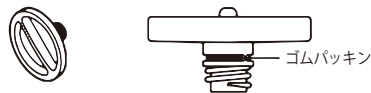
週に1度

スポンジに浴室用中性洗剤を付けて、やさしく洗ってください。

●再生水投入口キャップ



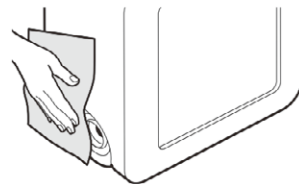
●排水口キャップ



お願い 各キャップについているゴムパッキンには洗剤等がつかないようにご注意ください。パッキンを傷め、水漏れの原因になります。

●再生水投入口・排水口

キャップを取り外してやわらかい布で汚れをふき取ってください。付近に付着した汚れが中に入らないように注意してください。



清掃中はシャワーを出さないでください。本体から水が吹き出します。

- ミガキ粉など研磨剤の入った洗剤や、硬いスポンジ、高機能スポンジ（メラミンフォーム製スポンジ）、ブラシ、たわしなどは使用しないでください。軟水器本体に傷がつくおそれがあります。



- 洗剤を使用した後は、十分に洗い流してください。浴室用中性洗剤であったとしても、長時間付着したままにすると軟水器表面やパッキン類を痛め、変色や割れ、水漏れの原因になります。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。割れ、変色、変形のおそれがあります。
- 清掃の際に、洗剤を再生水投入口や排水口に入れないでください。誤って入ってしまった場合は、排水口から泡が出なくなるまで水で洗い流してください。
- 硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤、洗剤、漂白剤、化粧品や髪染め液をかけないでください。割れ、変色、変形のおそれがあります。

故障かなと思ったとき

現 象	原 因	処 置
シャワーから軟水がでない（硬水状態）	イオン交換樹脂が再生の時期にきている	再生を行ってください ( 13 をご覧ください)
シャワーの水量が極端に少なくなった	イオン交換樹脂が目詰まりしている	弊社お客様相談窓口までご連絡ください
	イオン化交換樹脂が寿命の時期にきている (ご使用開始から5～7年以上経過)	弊社お客様相談窓口までご連絡ください
	水栓のストレーナーにゴミが蓄積している	水栓の取扱説明書をよく読み、ストレーナーを掃除してください
	水栓の開度が少ない	適量になるように水栓を開けてください
	水栓の水側／湯側止水栓の開度が少ない	水栓の取扱説明書をよく読み、止水栓の調整をしてください
	水圧が低下している	他の水栓や近所で多量の水を使っている可能性がありますので、しばらくしてから再度ご確認ください
シャワーから茶色い水が出る	初めて使うときや、長時間お使いにならなかった場合、本体に充填されているイオン交換樹脂の色素が流れ出る場合があります	異常ではありませんので、しばらく水を流してからご使用ください
	いつまでも出続ける場合はイオン交換樹脂が漏れている可能性があります	弊社お客様相談窓口までご連絡ください

故障かなと思ったとき

現 象	原 因	処 置
シャワーの温度が低い	軟水器には1.7Lのタンクがあるので、使い始めのタンクの水が入れ替わるまでは温度が低い場合があります	しばらく流し続けてください それでも低い場合は設定温度を上げて、適温になるようにしてご使用ください
シャワーの温度が途中で低くなる	シャワーを使用中に一旦止めると、配管内の水が部分的に冷やされて、温かい水と冷たい水が交互に出ることがあります	異常ではありませんので、しばらく水を流してからご使用ください
水栓を閉めてもシャワーがすぐに止まらない	軟水器は、水栓よりもシャワー側に配置されているため、水栓を閉止しても水圧分遅れてシャワーが止まります	異常ではありませんのでそのままご使用ください
軟水器本体底部のリリーフ弁から水(湯)が出ている	リリーフ弁が閉じていない	シャワーを出したり、止めたりしてください また、この動作を何度か繰り返してください
	水道圧が高すぎる	水栓の流量調整を行ってください ( 8 をご覧ください) それでも解決しない場合は 弊社お客様相談窓口までご連絡ください

上記以外の現象およびこれらの処置で正常に作動しないときは、弊社お客様相談窓口までお問い合わせください。

仕様

項目	内容
イオン交換樹脂量	約0.9L
最大通水量	10L/分(リリーフ弁が作動しない流量でご使用ください)
使用圧力	給水圧力は0.15～0.5MPaの範囲でご使用ください
電源	不要
使用可能原水硬度	140mg/L以下
軟水化量	原水硬度70mg/L時：1,200L以上
	原水硬度140mg/L時：500L以上
寸法(本体)	高さ：260mm 幅：260mm 奥行：140mm (キャップは含みません)
原水入口温度	0～50℃(ただし凍結しないこと)
再生剤	市販の食塩(塩化ナトリウム99%以上) ※食塩は旨み成分などの含有なきもの
再生方法	手動(約15分)
再生剤使用量	360g/再生時(約2L塩水で再生)
質量(満水時質量)	4.0kg(4.8kg)
タンク容量	1.7L(保有水量0.8L)

アフターサービスについて

アフターサービスのお申込み

アフターサービス（点検・修理）を依頼される前に「故障かなと思ったとき」
17、18を見て、もう一度ご確認ください。それでも不具合がある場合は、
ご自分で修理なさらないで弊社お客様相談窓口へご連絡ください。

＜ご連絡の際には次のことをお知らせください＞

- 1.商品の「メーカー型式」・・・ドア上側に貼り付けられています。
- 2.購入日
- 3.不具合の状態（できるだけ詳しく）
- 4.住所、氏名、電話番号

- ◆お客様が弊社にお電話にてご相談いただいた場合は、ご相談への対応や修理などに利用するため、お客様の個人情報やご相談内容を記録させていただくことがあります。
- ◆ご相談への対応や修理などに利用するため、弊社販売先、サービス会社等に個人情報を提供し、対応させていただくことがあります。

保証・補修について

- 保証期間中の故障修理について
保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。なお、出張修理の場合は、出張料などの実費を申し受けます。保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理について
弊社お客様相談窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有償修理いたします。本製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後5年間です。

消耗部品の交換（有料）

- 本製品は、継続的に水道水を軟水化するために、定期的な再生操作が必要です。
この再生のために必要な部品や操作はお客様にて準備、実施してください。（例：食塩）
- パッキン等のゴム部品、イオン交換樹脂、ホースは消耗部品です。
水質やご使用方法によっては数年で交換が必要な場合があります。

お客様相談窓口のご案内

商品のお問い合わせは（お客様相談窓口）

個人のお客様
0120-801-761
※携帯電話の場合 **0570-001-761**（有料）

販売・施工など業者様
0570-071-761（有料）

●受付時間 9:00～17:00（12:00～13:00を除く）
土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

修理のご用命は

個人のお客様
0120-102-471
※携帯電話の場合 **0570-002-471**（有料）

販売・施工など業者様
0570-022-471（有料）

●受付時間 365日 24時間
（修理訪問は日中、地域により休日あり）

UP18-PT9003
2W00004475
2022年12月



2W00004475

株式会社 ハウステック

群馬県高崎市栄町1-1 ヤマダホールディングス本社11階内 〒370-0841 Tel. 027-395-0410
www.housetec.co.jp